

県内総合

建設情報 /iwater

女鹿口橋の架け替え設計を公告

県二戸審査申請期限は12月10日正午

県北広域振興局二戸審査指導監は25日付で、簡易総合評価落札方式の「一般県道二戸一戸線女鹿口橋橋梁詳細設計業務委託」を公告した。申請期限は12月10日正午。入札日時は同月17日の午前9時から午後5時まで。開札は翌18日を予定している。(関連7面)

この業務は、老朽化した女鹿口橋の架け替え設計を実施するもの。

同橋は、一戸町小鳥谷地内に位置。橋長は30.1m。橋梁形式は車道部が3径間連続RCT桁橋、歩道部は3径間単純H桁橋で設置されている。架設年は車道部が1957年、歩道部が77年となっている。

業務では過年度に実施した架け替え概略検討を基に、測量、設計、地質調査を実施する。具体的な業務内容は、路線測量0.1kmと、地質調査、橋梁詳細設計、橋梁撤去設計、仮設構造物設計の各一式。

このうち、路線測量では作業計画、中心線測量、仮B.M.設置測量、縦断測量、横断測量を、橋梁詳細設計では、鋼橋上部工、橋台工、架設計画を実施する。撤去設計では車道橋・歩道橋・コンクリート橋脚に係る設計計画、施工計画検討、設計図作成、数量計算などをはじめ、工程計画検討、概算工事費の算出を行う。

履行期限は、26年3月20日まで。入札参加資格には、建設関連業務競争入札参加資格者名簿において①測量に登録され、地上測量を申請業務としていること②地質調査に登録され、地質調査を申請業務としていること③土木関係建設コンサルタントに登録され、鋼構造およびコンクリートを申請業務としていることの全ての業務資格者で、岩手県内に本店または営業所を有すること、などを付している。

東小田地区河道計画検討業務は東開技術

—県一関審査指導監—

県南広域振興局一関審査指導監は、「一級河川千厩川筋東小田地区河道計画検討業務委託」を入札した結果、東開技術が702万円で落札した。委託期間は2026年3月23日までを予定する。(関連6面)

この業務は、一級河川千厩川の狭窄部による河川の水位上昇が及ぼす影響を考慮し、河道計画を立案することを目的とする。

業務対象地域は、一関市千厩町千厩字東小田地内。

主な業務内容を見ると、現地踏査などを行った上で、現況河道の流下能力検討結果を基に計画区间を設定し、計画平面形状を検討。平面形状の検討内容を考慮し、縦横断計画の仮定および水理検討を試行の上、妥当な縦横断計画を検討する。

仮定した河道計画断面を基に不等流計算を行い、河道計画を検討。計画平面図、計画縦横断図等により、概算工事を算出する。

建築申請

▽建築主、住所、建築場所、用途、構造・階数(W=木造 S=鉄骨造 RC=鉄筋コンクリート造)、面積、設計、施工、確認済証の交付月日

盛岡市役所

▼7月18日

▽医療法人遠山病院理事長千葉知盛岡市下ノ橋町6番14号 同27-1、28-1、28-2、29、57-5、57-21 病院新 S4 7033.87m² (株)久慈設計 (株)力ガヤ建設

▼7月22日

建設費用は60~70億円

一ノ関駅東西自由通路整備事業期間は8年程度に

一関市はこのほど、一ノ関駅東西自由通路整備に係る基本計画調査の内容を取りまとめ、公表した。工事については設計と工事を合わせて8年程度の期間を要し、建設費用は60~70億円程度と試算されている。市では各種検討を行なうため、JR東日本と協議しながら継続調査を行っていく考え。このほど開かれた市議会の「一ノ関駅周辺整備調査特別委員会」に報告した。

一ノ関駅東西自由通路について、市では駅利用者と市民の生活における利便性の向上、中心市街地の活性化を図る上で整備の必要性を認識していたが、技術面・財政面の課題があり、整備が進まない状況が続いている。JR東日本との情報交換の中で、2023年度末にJR東日本側から一ノ関駅の既存跨線橋を改修し、一部を自由通路として活用する手法の検討について提案を受けたことから、自由通路整備手法の実現可能性を判断

するため、JR東日本に「基本計画調査」を委託。24年10月から調査を実施してきた。

調査内容は、既存跨線橋の一部を自由通路に改修する技術的な建築・土木・電気系統の調査や、改修工事に係る各種法令上の制限など。調査に当たっては、「一ノ関駅既存跨線橋をストレートに延伸し、東西自由通路出入口を市営西口北駐車場に設置」と「先述した案を基本とし、一ノ関駅西口側工レバーター付近の地上変電設備を回避した上で、東西自由通路出入口を市営西口北駐車場に設置」の2案が示された。

基本計画調査の結果について、市では「技術上の各種法令の制限を確認した結果、既存跨線橋を改修し、一部自由通路として整備ができる確度が高まっているとJR東日本から報告を受けた」としている。現時点では、工期が設計と工事を合わせておよそ8年程度、整備費用が60~70億円程度と想定

— 一般建築・鉄骨・橋梁塗装



株式会社 富士塗装

盛岡市みたけ4丁目33-15 TEL (019)641-4431㈹

FAX (019)641-4476

軽車両から大型まで

東亜レンタカー



新車・中古販売もやってます!!

TOA 東亜リース

本社 〒023-0002 岩手県奥州市水沢工業団地1丁目1番地 TEL 0197-24-1161 FAX 0197-24-1169

岩手ブロック

TOA LEASE CORPORATION

プラント事業部 0197-24-1161 盛岡営業所 019-694-3070 北上営業所 0197-67-2131 小糸営業所 0194-66-7700 金石営業所 0193-55-5381

リースセンター 0197-23-6222 盛岡営業所 019-637-8200 水沢営業所 0197-23-6222 岩泉営業所 0194-32-3030 大船渡営業所 0192-47-4838

サービスセンター 0197-23-5055 花巻営業所 0198-26-2223 千厩営業所 0191-53-3222 宮古営業所 0193-77-3357 高田営業所 0192-47-3572

二戸営業所 0195-27-2255 遠野営業所 0198-62-7273 一関営業所 0191-46-3222 山田営業所 0193-77-4041

ニュースのお知らせは

〒020-0015 盛岡市本町通3-9-33

本社編集部へ

TEL (019)623-8201

FAX (019)623-8204

されている。

市では現時点の検討状況を踏まえ、工期の短縮や整備費用の縮減のさらなる検討を行うため、継続調査の実施について基本計画調査の延長としてJR東日本と協議を進めている。

JR東日本との協議を踏まえ、市では東西自由通路の整備に係る工期の短縮、整備費用の縮減を検討するため、基本計画調査の延長として継続調査を行いたいと考え。継続調査の実施に係る詳細については、JR東日本と協議のうえ調整するとしている。

東小田地区河道計画検討業務は東開技術

—県一関審査指導監—

県南広域振興局一関審査指導監は、「一級河川千厩川筋東小田地区河道計画検討業務委託」を入札した結果、東開技術が702万円で落札した。委託期間は2026年3月23日までを予定する。(関連6面)

この業務は、一級河川千厩川の狭窄部による河川の水位上昇が及ぼす影響を考慮し、河道計画を立案することを目的とする。

業務対象地域は、一関市千厩町千厩字東小田地内。

主な業務内容を見ると、現地踏査などを行った上で、現況河道の流下能力検討結果を基に計画区间を設定し、計画平面形状を検討。平面形状の検討内容を考慮し、縦横断計画の仮定および水理検討を試行の上、妥当な縦横断計画を検討する。

仮定した河道計画断面を基に不等流計算を行い、河道計画を検討。計画平面図、計画縦横断図等により、概算工事を算出する。

建築申請

▽建築主、住所、建築場所、用途、構造・階数(W=木造 S=鉄骨造 RC=鉄筋コンクリート造)、面積、設計、施工、確認済証の交付月日

盛岡市役所

▼7月18日

▽医療法人遠山病院理事長千葉知盛岡市下ノ橋町6番14号 同27-1、28-1、28-2、29、57-5、57-21 病院新 S4 7033.87m² (株)久慈設計 (株)力ガヤ建設

▼7月22日

▽ミネルバ開発株代表取締役山内季光 盛岡市津田中央二丁目8-31 盛岡市三本柳10地割54-3、55-3、55-4、56-6、56-7の各一部 共同住宅、事務所新 W(在来工法) 2 40 72.1m² (株)F.P.ホームサービス

同 一

▼7月28日

▽(株)月歩前進代表川村莉絵 盛岡市津田西一丁目1-31 盛岡市津田南三丁目19-38、19-200、19-37 診療所(患者の収容施設のないものに限る) 新 W 274.05m² 零設計倉未定

▼7月30日

▽(株)高橋自整工代表取締役高橋躬 盛岡市向中野五丁目21-31 同21番9 日用品の販売を主とする目的とする店舗(調剤薬局) 新 W 107.03m² (有)ケイズクリエイツ タック(株) 一

▽(株)フロムイーストジャパン合同会社代表社員那須勇一 仙台市青葉区旭ヶ丘一丁目28-1 盛岡市中央通二丁目173-3、174-1、174-2 共同住宅新壁式RC 5 843.87m² 蔵建築設計 宮城野ハウステック(株) 一

▼8月1日

▽大和ハウス工業㈱北東北支店支店長田部卓 盛岡市向中野7丁目18番16号 盛岡市南大通二丁目

465番1、465番4 共同住宅新 S 2 250.89m² 大和ハウス工業㈱北日本支社 一

▼8月4日

▽(株)岩手ファーム代表取締役中村徹 盛岡市下田字生出731-7 同古河川原66-5の一部 畜舎(鶏舎) 増 W 1 137.46m² (株)二戸設計 (株)高橋建設 一

▽(株)岩手ファーム代表取締役中村徹 盛岡市下田字生出731-7 同891-5、1911-1の一部 その他(鶏舎農場に付属する消毒槽) 新 W 1 137.46m² (株)二戸設計 (株)高橋建設 一

いわて防災学教室

災害から学び、災害に備える



岩手大学理工学部システム創成工学科助教

松林 由里子

の記憶を信じられない。

システム2で考えて、安全な場所にたどり着かなければいけないので、様々な理由で機能せず、システム1で、とにかくその場を飛び出して走り出してしまった、ということを避けるためには、十分な知識や情報をを持っておく、または、起こりうる非常事態に、直感的に安全な場所に避難できるようになるよう、マニュアル化し、訓練するなどの対策が有効のようだ。災害情報は、新しい項目や手段が、増えている。それらをシステム2による判断の材料にできるかどうかかも課題となる。

そのうえで、正常性バイアス(そんなに異常なことではない、大丈夫だ)や、同調性バイアス(みんながやってるから、わたしもそうする)、惰性癖(どうせ逃げても空振りかもしれないし、このまま現状維持でいいじゃないか)などにまどわされる自分を見つめなおして行動することが、災害時の自分の認知システムとの付き合い方としておすすめされている。同調性バイアスを生かして、みんな逃げているから逃げましょ、という対策も行われている。

人間が共通して持っている考え方の癖や偏りが認知バイアスと呼ばれる。人類が進化の過程で環境に適応した結果で、効率よく、すべきことを注ぐことができる。

私がよく陥るのは、オーストリッヂ効果、と呼ばれるものだとわかった。困難や見たくない現状から目をそらして頭を砂に突っ込んでやり過ごそうとするダチョウ状態、という意味だが、実際のダチョウはそんなことはしないらしい。デメリットが大きいので、ダチョウになっていることに気づいていくところから始めた。

参考:ダチョウのパラドックス「災害リスクの心理学」(丸善出版、中谷内一也訳、ロバート・マイヤー原著)、こどもバイアス事典(株式会社カンゼン、犬飼佳吾監修、パウンド著)

※いわて防災学教室のバックナンバーは、岩手大学地域防災研究センターのホームページ「公開情報」で閲覧できます。

いわての未来をともに考えませんか 岩手地域開発懇話会 会員募集中!!

詳しい活動内容やお問い合わせは事務局まで 事務局/株式会社岩手建設工業新聞社 営業局内 電話 019-623-8201・FAX 019-623-8204



地域と共に歩み続ける 遠忠グループ

総合建設

株式会社 遠忠